

Fujitsu Storage ETERNUS LT20 S2

テープライブラリ

大容量データの高速バックアップを実現するテープライブラリ。

高性能

大容量LTO Ultrium™フォーマットをテープドライブに採用しています。ETERNUS LT20 S2では、第七世代のLTO Ultrium7に加え、第八世代のLTO Ultrium8、第九世代のLTO Ultrium9に対応しており、増加し続けるデータのバックアップ運用を強力に支援します。

【LTO Ultrium7 ハーフハイト テープドライブ】

転送速度(非圧縮時) 300MB/秒、記憶容量(非圧縮時) 6TB/巻

【LTO Ultrium8 ハーフハイト テープドライブ】

転送速度(非圧縮時) 300MB/秒、記憶容量(非圧縮時) 12TB/巻

【LTO Ultrium9 ハーフハイト テープドライブ】

転送速度(非圧縮時) 300MB/秒、記憶容量(非圧縮時) 18TB/巻
高さ1Uのラックスペースに、カートリッジテープを最大8巻収納可能で、スペースの有効活用ができます。最大144TB(非圧縮時)の記憶容量を実現します。

最大1,080GB/時間(非圧縮時)の転送性能を実現します。

操作性

すべてのスロットがマガジン方式のため、カートリッジテープの交換はマガジンを引き出すだけで簡単に行えます。また、マガジン単位での管理や交換もできるので、オフサイト管理が容易にできます。

正面のオペレーターパネルで容易に状態確認/操作を行えます。また、Webベースでの管理モニタ機能を標準装備しており、ネットワーク経由で離れた場所の管理用端末からも同様の状態確認/操作が可能です。

LTFS (Linear Tape File System) により、専用のバックアップソフトウェアやアーカイブソフトウェアを使用せずに、ファイルへのアクセスが可能です。

接続性

ホスト・インターフェースとしてSAS、ファイバチャネルをサポートし、各種サーバへの接続が可能です。さらに、以下の代表的なバックアップソフトウェアをサポートしています。

VERITAS NetBackup
NetVault Backup
Arcserve Backup
ETERNUS SF TSM

セキュリティ

一度書き込まれたデータを変更しないWORM (Write Once Read Many) 機能を備えたカートリッジテープにも対応しています。操作ミスや故意によるデータの改ざん/削除を防ぐことができるので、コンプライアンス対応やセキュリティの強化に有効です。

*バックアップソフトウェアと連携してWORM機能を使用する場合は、WORM機能に対応したバックアップソフトウェアが必要となります。

LTO Ultrium4以降のテープドライブには、256bit AES*1の暗号化方式に対応したデータ暗号化機能が搭載されています。バックアップソフトウェア*2の暗号鍵管理機能を使用することで、データ暗号化の運用を簡単に行えます。データの暗号化により、外部へカートリッジテープを持ち出す際の情報漏洩や外部者へのデータ流出を防ぎ、セキュリティを高めます。

*1 Advanced Encryption Standardの略。米国連邦情報処理標準の暗号化方式で、総務省/経済産業省の「電子政府推奨暗号リスト」に掲載。

*2 サポートソフトウェアは、弊社担当営業、または販社パートナーまでお問い合わせください。

高信頼

LTO Ultrium™テープドライブは、安定したテープの巻き取りを可能にするテープスレッド機構を標準で装備しています。この機能によって、テープの先端部分を引き込む際のトラブルを防ぎます。内蔵したロボットにより、カートリッジテープの交換作業を自動化し、人為的ミスによるデータ損失を低減します。

オペレーターパネルの操作はパスワードで保護されており、不正操作によるカートリッジテープの持ち出しを防止します。

充実のサポートサービス

Fujitsu Managed Infrastructure Service SupportDesk
富士通サポートセンターの専門技術者がハードウェア/ソフトウェアを一括でサポート。定期点検などの予防保守、専用ホームページによる情報提供を行います。万が一のハードウェアトラブル時にはサービスエンジニアを派遣し修理を実施致します。

※SupportDeskの詳細は、以下URLをご覧ください。

「製品サポート」<https://www.fujitsu.com/jp/supportdesk/>



製品カタログ Fujitsu Storage ETERNUS LT20 S2 テープライブラリ

ETERNUS LT20 S2の装置仕様

最大収納カートリッジ数		8巻	
バックアップ容量	LTO Ultrium9 カートリッジテープ (非圧縮時)	最大144TB	
	LTO Ultrium8 カートリッジテープ (非圧縮時)	最大96TB	
	LTO Ultrium7 カートリッジテープ (非圧縮時)	最大48TB	
	LTO Ultrium6 カートリッジテープ (非圧縮時)	最大20TB	
	LTO Ultrium5 カートリッジテープ (非圧縮時)	最大12TB	
データ転送時間 (非圧縮時)		最大1,080GB/時間	
搭載コンポーネント	ロボット数	1	
	テープドライブ数	1	
テープドライブ仕様	LTO Ultrium9 ハーフハイトテープドライブ	転送速度 (FC)	750MB/秒 (圧縮時*) / 300MB/秒 (非圧縮時)
		転送速度 (SAS)	750MB/秒 (圧縮時*) / 300MB/秒 (非圧縮時)
		記憶容量 ⁵⁾	45TB/巻 (圧縮時*) / 18TB/巻 (非圧縮時)
	LTO Ultrium8 ハーフハイトテープドライブ	転送速度 (FC)	750MB/秒 (圧縮時*) / 300MB/秒 (非圧縮時)
		転送速度 (SAS)	600MB/秒 (圧縮時*) / 300MB/秒 (非圧縮時)
		記憶容量 ⁵⁾	30TB/巻 (圧縮時*) / 12TB/巻 (非圧縮時)
	LTO Ultrium7 ハーフハイトテープドライブ	転送速度 (FC)	750MB/秒 (圧縮時*) / 300MB/秒 (非圧縮時)
		転送速度 (SAS)	600MB/秒 (圧縮時*) / 300MB/秒 (非圧縮時)
		記憶容量 ⁷⁾ ファイバ	15TB/巻 (圧縮時*) / 6TB/巻 (非圧縮時)
ホスト・インターフェース		ファイバチャネル SAS	
ホスト・インターフェース数		1	
外形寸法 (W×D×H)		478×809×44mm (482×809×60mm ²⁾)	
質量 ³⁾		12.0kg (22.0kg ⁴⁾)	
電源条件	電圧	AC100V~240V ⁴⁾	
	相数	単相	
	周波数	50Hz / 60Hz	
最大所要電力		65W (80VA)	
最大発熱量		234kJ/h	
電源コンセント	必要コンセント数	1	
	コンセント形状	AC100V AC200V ⁴⁾	
周囲環境条件	温度	LTO Ultrium9	15~25℃ (動作時), -40~60℃ (輸送時)
		LTO Ultrium8まで	10~35℃ (動作時), -40~60℃ (輸送時)
	湿度	LTO Ultrium9	20~50%RH (動作時), 10~80%RH (輸送時)
		LTO Ultrium8まで	20~80%RH (動作時), 10~80%RH (輸送時)

*1:圧縮比2.5:1の場合。 *2:スタンダードコンキット使用時。 *3:カートリッジテープの質量は含まれません。 *4:AC200V電源使用時は、別途AC200V電源ケーブルの購入が必要です。 *5:LTO Ultrium9 カートリッジテープ使用時 *6:LTO Ultrium8 カートリッジテープ使用時 *7:LTO Ultrium7 カートリッジテープ使用時

サポートサーバ/OS/ソフトウェア

メーカー名	サーバ名	サポートOS	バックアップソフトウェア
富士通	基幹IAサーバ PRIMEQUEST 3000シリーズ/4000シリーズ	Red Hat Enterprise Linux 7 (for Intel64), Red Hat Enterprise Linux 6 (for x86 & Intel64) Windows Server® 2012 R2 Standard, Windows Server® 2012 R2 Enterprise, Windows Server® 2012 R2 Datacenter, Windows Server® 2012 Standard, Windows Server® 2012 Enterprise, Windows Server® 2012 Datacenter	Veritas NetBackup 8.0以降, ETERNUS SF TSM 8.1以降, ETERNUS SF TSM EE 8.1以降, NetVault Backup 12以降 Arcserve Backup r17.5以降, Veritas NetBackup 8.0以降, ETERNUS SF TSM 8.1以降, ETERNUS SF TSM EE 8.1以降, NetVault Backup 12以降, Veritas Backup Exec 16以降
	PCサーバ PRIMERGY	Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64), Red Hat Enterprise Linux 7 (for Intel64) Windows Server® 2022 Datacenter, Windows Server® 2022 Standard Windows Server® 2019 Datacenter, Windows Server® 2019 Standard, Windows Server® 2016 Datacenter, Windows Server® 2016 Standard, Windows Server® 2012 R2 Standard, Windows Server® 2012 R2 Enterprise, Windows Server® 2012 R2 Datacenter	Veritas NetBackup 8.0以降, ETERNUS SF TSM 8.1以降, ETERNUS SF TSM EE 8.1以降, NetVault Backup 12以降 Arcserve Backup r19以降, Veritas NetBackup 9.1以降, NetVault Backup 13以降
		SUSE Linux Enterprise Server 15 (for AMD64), SUSE Linux Enterprise Server 15 (for Intel 64), SUSE Linux Enterprise Server 12 (for AMD64), SUSE Linux Enterprise Server 12 (for Intel 64)	NetVault Backup 12以降
	UNIXサーバ SPARC Servers	Oracle Solaris 11	Veritas NetBackup 8.0以降, ETERNUS SF TSM 8.1以降, ETERNUS SF TSM EE 8.1以降, NetVault Backup 10以降
Oracle/Sun	SPARC Servers	Oracle Solaris 11	Veritas NetBackup 8.0以降, IBM Spectrum Protect 8.1, NetVault Backup 12以降, CommVault
その他	各社PCサーバ	Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64), Red Hat Enterprise Linux 7 (for Intel64) Windows Server® 2022 Datacenter, Windows Server® 2022 Standard Windows Server® 2019 Datacenter, Windows Server® 2019 Standard, Windows Server® 2016 Datacenter, Windows Server® 2016 Standard, Windows Server® 2012 R2 Standard, Windows Server® 2012 R2 Enterprise, Windows Server® 2012 R2 Datacenter	Veritas NetBackup 8.0以降, ETERNUS SF TSM 8.1以降, ETERNUS SF TSM EE 8.1以降, NetVault Backup 12以降 Arcserve Backup r19以降, Veritas NetBackup 9.1以降, NetVault Backup 13以降
		SUSE Linux Enterprise Server 15 (for AMD64), SUSE Linux Enterprise Server 15 (for Intel 64), SUSE Linux Enterprise Server 12 (for AMD64), SUSE Linux Enterprise Server 12 (for Intel 64)	Veritas NetBackup 8.0以降, ETERNUS SF TSM 8.1以降, ETERNUS SF TSM EE 8.1以降, NetVault Backup 12以降, Arcserve Backup r17.5以降, Veritas NetBackup 8.0以降, ETERNUS SF TSM 8.1以降, ETERNUS SF TSM EE 8.1以降, Veritas Backup Exec 16以降, NetVault Backup 12以降, Veritas Backup Exec 16以降, Veeam Backup & Replication 9.5.4以降
		SUSE Linux Enterprise Server 15 (for AMD64), SUSE Linux Enterprise Server 15 (for Intel 64), SUSE Linux Enterprise Server 12 (for AMD64), SUSE Linux Enterprise Server 12 (for Intel 64)	Veritas NetBackup 8.0以降, NetVault Backup 12以降

(注) 接続するサーバのOSによってサポートしているソフトウェアが異なります。適用時は、弊社担当営業または販売パートナーまでお問い合わせください。



グリーン製品

グローバルな環境対策に則った
当社独自の厳しい環境評価基準
をクリア。

クラス1レーザ製品

- Windows, Windows Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。 ●Red Hat, RPMおよびRed Hatをベースとした全ての商標とロゴは、Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。
- Linuxは、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。 ●LTO, Linear Tape-Open, Ultriumは、Hewlett-Packard社, IBM社, Quantum社の登録商標です。
- Oracle SolarisはSolaris Operating Systemと記載する場合があります。 ●OracleとJavaは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- 記載の会社名、製品名、名称等の固有名称は各社の商標または登録商標です。 ●その他、本カタログに記載されている名称には必ずしも商標表示をしておりません。
- お客様システムの安定稼働やセキュリティ確保のために、最新版ファームウェアの適用をお願いいたします。ファームウェアは以下のSupportDeskご契約者様向けサイト(SupportDesk-Web)にて提供しております。
なお、ファームウェアの入手・適用作業は、お客様自身で実施願います。弊社に作業をご依頼いただく場合は、有償にて承りますので、弊社担当営業または販売パートナーまでお問い合わせください。
・SupportDesk-Web (https://eservice.fujitsu.com/supportdesk-web/) (※このサイトを利用いただくには、SupportDesk契約が必要となります)
- このカタログに記載されている製品については、改良のために予告なしに仕様、デザイン等を変更する場合がありますのでご了承ください。 ●このカタログは、再生紙を使用しています。

<p>本製品でご利用される カートリッジテープは 右記の媒体をご利用ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Ultrium9 データカートリッジ [商品番号:0160400] ・Ultrium8 データカートリッジ [商品番号:0160390] ・Ultrium7 データカートリッジ [商品番号:0160360] ・Ultrium6 データカートリッジ [商品番号:0160350] ・Ultrium5 データカートリッジ [商品番号:0160340] ・Ultrium1 クリーニングカートリッジU [商品番号:0160280] 	<ul style="list-style-type: none"> ・Ultrium9 データカートリッジ WORM [商品番号:0160405-P] ・Ultrium8 データカートリッジ WORM [商品番号:0160395-P] ・Ultrium7 データカートリッジ WORM [商品番号:0160365-P] ・Ultrium6 データカートリッジ WORM [商品番号:0160355-P] ・Ultrium5 データカートリッジ WORM [商品番号:0160345] 	<p>〈富士通コワーコ製〉</p>
---	--	---	-------------------

お問い合わせ先

受付時間 9:00~12:00および13:00~17:30 (土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く)
富士通コンタクトライン (総合窓口)

0120-933-200

〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

<https://www.fujitsu.com/jp/eternus/>